（リスクアセスメント）　下草刈　作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、使用機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	2024年11月25日	2tトラック、パッカー車 連絡車	肩掛け式刈払機（回転式、トリマー式） ブロワー、飛散防止ネット 立入防止柵乗越用器具	ヘルメット、手袋（手鎌使用時は切創防止）、 安全靴又は足袋又は長靴、保護メガネ又はフェイスシールド、 しらすんだー受信機、消火器、ポイズンリムーバー	
改訂日					
作成者	髙島　直人・飛田　悟郎				
必要資格等	自動車運転免許、振動工具取扱作業者安全衛生教育、刈払機取扱作業者安全衛生教育			作業人員　4～8　名	その他：パッカー車のスイッチ操作専門要員の配置（腕章装着又はヘルメットに明示）
備考	・刈払機の選定については、別紙「草刈作業の使用機械選定フロー」を参照。　・パッカー車への積込み作業については、「パッカー車への積込み」作業手順書を参照。 ・ケーブル等との近接作業になる場合は、「光通信ケーブル等近接工事　施工計画書（植栽作業）」を参照。				

可能性	1：ほとんど起きない（5年に1回程度）	2：たまに起きる（1年に1回程度）	3：かなり起きる（6ヶ月に1回程度）	×	重大性	軽微（不休災害）	重大（休業災害）	極めて重大（死亡・障害）	=	評価	対策変更の必要なし	対策が必要	即座に対策が必要
	頻度率：1	頻度率：2	頻度率：3			危険度：1	危険度：2	危険度：3			1～2	3～4	5～9

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因（予測される災害・事故）（品質、トラブルも含む）	危険要因 可能性	重大性	評価	危険有害要因低減対策	誰が 点検・確認	対策後 可能性	重大性	評価
準備工	1	作業内容の打ち合わせ	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	リスクアセスメントを活かした危険予知活動をする	職長	1	2	2
	2	作業人数の確認	作業における不適切な人数の配置、及び無資格者の作業	2	3	6	作業において、適切な作業人数かを確認し、業務に係る特別教育を修了している人員の配置、健康状態の確認、アルコールチェック	職長	1	1	1
	3	使用機械の点検	機械、工具が誤作動、現場にて稼働しない	2	2	4	機械・器具の不備はないか	全員	1	1	1
	4	保護具の点検	身の安全を守る保護具の故障	2	1	2	不具合のある保護具は使用しない	全員	1	1	1
	5	作業方法の確認	各自の作業が不明確で不安全行動を起こす	2	2	4	各自の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	1	1
	6	高速道路に入る前にプレート区間の確認(本線作業時)	プレート区間外使用、不正使用	3	2	6	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1
	7	救急箱などの用意	ケガ・ハチ刺されなどの応急の手当てができない	2	2	4	消毒・ポイズンリムーバー等の用意	全員	1	1	1
	8	車両点検、荷姿チェックをする	積荷の飛散、スペアタイヤの落下	2	3	6	車両点検、荷姿チェックを乗車員と確認	乗車員	1	1	1
移動	1	交通ルールの順守	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2
	2	現場到着後は歩行者、通行車両に邪魔にならない様に配慮して駐車する	歩行者、班員、通行車両、工事用車両との接触	2	1	2	駐車した箇所が適切な場所か確認する	全員	1	1	1
	3	車両はハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	車両が自走して、他に接触する	3	1	3	車両はハンドル切、サイドブレーキ、輪止めの確認	全員	1	1	1
本作業	1	適切な保護具の着用	保護具未装着によるけが	1	2	2	適切な保護具の着用確認	全員	1	1	1
	2	危険物の除去	危険物を機械で刈り、ケガの恐れがある	2	2	4	ゴミは前もって回収する。	作業員	1	1	1
	3	仮設ケーブル、工作物の位置確認	ケーブルの切断、工作物を損傷させる	2	3	6	作業前にケーブル、工作物があるか確認、周知、明示する。 ケーブルの周りは機械でからず、手鎌で刈る	作業員	1	1	1
	4	作業箇所の確認、現場のフェンス越え	立入防止柵乗越え時、足を滑らせ転落する	2	2	4	・現場への入場は基本的には門扉を使用する ・立入防止柵を乗り越える場合は乗越用器具を必ず使用する	作業員	1	1	1
	5	刈り払い機での草刈り作業	飛び石による第三者被害	2	1	2	・飛散防止ネットを使用する。通行人や通行車が近い場合は、警笛による合図で作業を一時停止する	作業員	1	1	1
	〃	〃	作業員同士の接触事故	2	2	4	草刈機を使用中の作業員には近づかない。(5m以上)	作業員	1	1	1
	〃	〃	刈刃に絡まった草を取る時に手を受傷する	2	1	2	エンジンを切ってから、草を取り除く	作業員	1	1	1
	〃	〃	刈刃で自分の体を損傷する	2	2	4	肩掛けバンドを使用し、刃が当たれないようにする	作業員	1	1	1
	〃	〃	本線、ランプ際、駐車場作業時は特に飛び石に注意する	2	2	4	飛散防止ネットやトリマー式草刈機を使用する	作業員	1	1	1
	〃	〃	のり面などの急な斜面で滑る	2	2	4	急な勾配に対して安全対策をおこなう	作業員	1	1	1
清掃	1	排水溝・シール工・側道などに飛び散った草を除去	法面のシール工に足を滑らせ転倒の恐れ	1	3	3	足元に注意しながら作業	作業員	1	1	1
運搬	1	指定された場所に運搬	トラックの積み荷の飛散	1	2	2	運行前の積み荷の飛散がないかチェック	作業員	1	1	1
		〃	〃	1	2	2	パッカー車のゲートロックの確認	作業員	1	1	1
作業終了と片付け	1	その日の終了した現場確認	現場に道具等の置き忘れ	1	2	2	現場を出るときに最終確認をおこなう	作業員	1	1	1

参考図（写真等）

【セーフティーバイブル】

- ・全体編【WH-11】耐切創手袋
- ・全体編【WH-16】ケーブル防護対策
- ・全体編【WH-25】フェンス乗越え（地上高2.0m以上・未満）
- ・植栽編【PL-01】草刈鎌、専用刈刃、チップカバー、トリマー
- ・植栽編【PL-02】トリマー型草刈刃
- ・植栽編【PL-05】スイッチ操作者
- ・植栽編【PL-06】連続スイッチカバー
- ・植栽編【PL-09】上下作業の禁止
- ・植栽編【PL-10】飛石防止ネット

注意事項

・手鎌を使用する場合は、切創防止用手袋を使用する。
・作業は保護メガネ、又はフェイスシールドを使用する。
・草刈前に、取れる範囲の危険物（ゴミ等）は除去する。
・無断で民地に立ち入らない。
・回転刃式刈払機を使用する場合は、ヘッド部分（回転刃部分）が外れないよう、始業前に点検する。
・夏期ハチ注意(殺虫剤の携帯)。
・高所や急傾斜地での作業は、必要に応じて墜落制止用器具を着用する。
・車両を後退させながら回収する場合は、後方監視員（誘導員）をつける。